



ミニバイク耐久レース開催概要と走行規約

Ver. 1.04 2026/8/08

レース概要

「エトワール HBF鈴鹿ツインミニバイク8時間耐久レース」

日本国内外で生産販売されたミニバイクによる耐久レースです。主催者から通知される各種規則に基づいて、規定時間内(4時間+4時間で計8時間)のコース周回による走行順位を競います。

開催場所

三重県 鈴鹿ツインサーキット
〒510-0265 三重県鈴鹿市三宅町 2913-2

参加資格

当イベントの主旨、目的を理解いただけるライダーで、原付を含む2輪・4輪などの参加車両に応じた運転免許証を所持していることが条件です。**必ず1チーム3名以上**でエントリーいただき、同一のレース内で他のチームとの重複エントリーは不可とします。申込時には親権者、保護者、配偶者、血縁者いずれかの同意を得てください。ライダーが16歳未満の場合は、**申込時に事務局へご相談ください。**
(レース初参加もしくは初心者ライダーは事前講習を受けて頂きます。申込時に事務局へご連絡ください。)

クラス分け

参加クラスは周回タイム1分20秒0を境に2クラスへと分けられます。事前計測はしませんので、自己申告で参加クラスを決めてエントリーしてください。ただしレース中のタイムによってクラス替えをすることがありますのでご了承ください。

エンジョイ (楽しさ優先の初心者)	メンバーの誰もがベストタイム1分20秒0を切れない(1分20秒0フラットを含む)チームが対象です。ただしエンジョイクラスからのエントリーであっても、決勝中に1分20秒0を切るベストタイムを刻むと自動的にエキスパートクラスへ変更されます。
エキスパート (速さを競う本格派)	メンバーの中に周回タイムが1分20秒0より速い(1分20秒0フラットは含まない)ライダーがいるチームが対象です。

自分の基準が分からない方はエンジョイクラスでご参加ください。速ければレース中に自動で昇格します。

参加可能な車両

HRC GROM Cup車両を基本とした一般にミニバイクと呼ばれている、排気量4ストローク100cc未満もしくは2ストローク50cc未満でホイール径が12インチ以上のミッションつき車両に限ります。

また、上記の車両に準ずる性能と安全基準を満たした車両であれば参加を認めます。ただし車両性能的に上記車両を上回ることがないものに限り、事前に主催者に確認してください。

北陸バイクフェスティバルのミニバイクノーマルクラス相当です。詳細は別紙「車両規定」を参照ください。わからない場合は主催者までご相談ください。

必要な装備

ヘルメット	ヘルメットはフルフェイス型のもので、MFJ公認ヘルメット認証マークが貼付されたものであること。
ブーツ・グローブ	皮革もしくは皮革と同等の素材(MFJの許可を得たもの)で、フックなどが外部に突出していない安全性の高いものを装着してください。
レーシングスーツ	皮革もしくは皮革と同等の素材(MFJの許可を得たもの)で、MFJ公認レーシングスーツ認証マークが貼付されたものを推奨します。
その他	脊椎プロテクタ、胸ガード、ヘルメットリムーバー、エアバッグ等の安全装備の着用を強く推奨します。

※装備に著しいダメージ(劣化や傷、穴など)があると出走禁止となる場合があります。**また、車両の不備などについても見つけ次第出走を禁止します。運営スタッフの指示には必ず従ってください。**

募集台数

エントリー募集台数は合計45台+数台とします。
エントリーの受理は受付完了先着順とし、総募集台数を超えての申込みは原則として受け付けません。

申込方法

本大会への参加はWEBエントリーを基本とします。

https://www.ms-event.net/hbfweb/user/?a=race.race_entry_list

主催者事務局:

920-0059 石川県金沢市示野町西19番地
HBF鈴鹿ツインミニバイク8耐事務局 宛

締切日前であっても、申し込みが募集台数に達した時点で受付を終了しますのでご了承ください。申し込み締め切り後に、参加申込者に対して参加の可否を通知いたします。**他チームとの合同ピットを希望される方は、エントリーリストの発表後に主催者へご連絡ください。**

保険加入の義務について

本レースに参加するライダーは、MFJライセンスのフレッシュマン以上の取得もしくはRSM(ライディングスポーツ・メンバーズ)への加入が必要です。

通常の任意保険ではサーキット走行での損害は補償されません。MFJライセンス(フレッシュマン以上)を持たない方には、RSMへの加入をお願いいたします。加入すると、登録競技者やイベント参加者が遭遇する不慮の事故に対して「(財)スポーツ安全協会」運営の「スポーツ安全保険」から補償が行われます。北陸バイクフェスティバルを含む、全国で開催されているRSM登録イベントのすべてに有効です。希望者は担当までお問い合わせください。有効期間は加入年度の3月末までです。なお、RSMは事前申し込みが原則です。当日加入はできないのでご注意ください。

参加料

1チーム3名 55,000円(税込)

以降ライダー1名追加毎に3,000円(税込)

前日のスポーツ走行は別途走行料掛かります。

この枠は台数に限りがありますので別途FAX申込になります。

参加時に持参いただくもの

- ・参加受理票、追加ライダー登録不足料金等
- ・誓約書(北陸バイクフェスティバルHPよりダウンロードしてプリントいただき、本人もしくは保護者の署名、捺印をお願いします)

コース走行時の遵守事項

1) ライダーは、ポストなどで表示される次のフラッグ、シグナルに習熟し従わなければなりません。

黄旗 (シグナルは黄色の点滅) 	コース上や周辺にある危険や故障車両を知らせる合図。振動表示される監視ポストから徐行区間とし、対象物を超すまでの区間が追い越し禁止となる。また、次の監視ポストでは解除の意味の緑旗は振らない。静止表示は注意喚起の合図で、追い越し禁止とはならない。
赤旗 (シグナルは赤点灯) 	走行の中断(中止)の合図。 必要に応じ直ちに停車できる態勢をとり、追い越し・追い抜きは禁止で最徐行とする。 詳細は「赤旗中断と再スタート」を参照。
緑旗 (シグナルは無点灯) 	オールクリアの合図。 コースの安全を知らせる意味で、フォーメーションならびに走行再開時のスタート合図。
日章旗 	スタート(走行開始)の合図。
オレンジボール 	走行車両に技術的欠陥ありを知らせる合図。 車両番号(ゼッケンNo.)と併せて表示されたライダーは、安全な場所に速やかに車両を停車しなければならない。
黒旗 	規則違反、あるいは危険な車両に対し車両番号(ゼッケンNo.)と併せて表示される。提示された車両は直ちにピットインをしなければならない。その違反内容によって罰則が与えられる。
チェッカーフラッグ 	ゴール(走行終了)の合図。 速やかにペースダウンし、次の周回でピットインすること。ダブルチェッカーはペナルティとなる。

2) 出走するライダーは、唐突な進路変更や幅寄せ等、故意による他の車両の進路を妨害するような行為、また、明らかに重大事故の発生が予測できる「危険な行為」を行ってはならず、事故無く安全に走行しなくてはなりません。

- ※「危険な行為」とは、①衝突を起こすもの、②他のライダーのコースアウトを強いるもの、③他のライダーによる正当な追い越し行為を故意に妨害するもの、等を指します。
- 3) 各ライダーは、規則に準じたヘルメット、グローブ、レーシングスーツ、ブーツ等を確実に着用し走行すること。
- 4) コース走行は右回り(時計回り)とし、いかなる場合も逆方向に走行してはいけません。
- 5) コース外の走行は、危険状態を避ける場合を除いて行ってはいけません。

スターティンググリッド

- 1) 原則としてグリッドはエキスパートクラス、エンジョイクラスの順となります。各クラス、前月に行われるタカス8耐の決勝結果をシードとし、以降は前日の練習走行時のタイムで決定されます。
タカス8耐決勝上位←エキスパートクラス←エンジョイクラス
PPはタカス8耐優勝チームとなります。
- 2) 前日練習走行のタイム計測は16:00までになりますのでご注意ください。この時点でのベストタイムをもって決勝グリッドを決定することとします。決勝グリッドは17:00頃に発表します。
- 3) コース上のグリッドにつけない車両のグリッドは、そのまま空きグリッドとし、詰めない事とします。

スタート

- 1) スタートはル・マン式スタートとします。決勝日はタイヤウォーマーは禁止、ウォームアップラップは1周です。進行により多少時間が前後する場合があります。スタート手順は以下の通り。
- 1時間前 — チーム割り当てピット前のレーンに車両を並べます。
 - 50分前 — ホームストレート上でライダーブリーフィングと集合写真撮影を実施します。(全員参加をお願いします)
 - 30分前 — スターティンググリッド後方入口より手押しで車両をコースに入れます。トランスポンダーチェックのため計測ラインを通過してから、各チームのグリッドに整列ください。
 - 20分前 — 選手紹介。(チームの写真撮影等はこの時間に)
 - 10分前 — 第1ライダーと車両を支える人以外はコースから退去。(エアバックのハーネスを装着する人は許可)
 - 8分前 — ウォームアップラップ開始。(1周)
 - 4分前 — ウォームアップラップ後、グリッドに再整列して全車エンジン停止。グリッドへの進入が締め切られます。ピットスタート車両はピットレーン出口手前にエンジン停止状態で待機してください。
 - 3分前 — 全車グリッドに整列し必要な人員以外は退去していること、エンジンが停止していることを確認。
 - 1分前 — エンジンを始動し、ライダーはスタート位置へ移動して待機してください。
 - スタート — 日章旗が振り下ろされるのを合図に、ライダーは車両に駆け寄り走行開始となります。
先ずはEXPクラスが前列から、続いてEJクラスが後列からと、各クラス別々のスタートとなります。

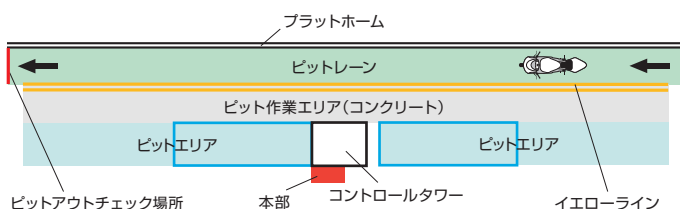
- 2) 計時は屋根付きピット下のタイミングモニターに表示されます。進捗状況により、規定時間前に案内される場合があります。
- 3) エンジン始動はエンジンウォーミングアップを目的とする場合のみ、スタート20分前からOKとなります。車検時の音量測定の場合もエンジン始動を認めます。ただし**スタート4分前**には全車エンジンを停止しなければなりません。
- 4) スタート3分前までにコース上のダミーグリッドにつけなかった車両はピットスタートとなります。
- 5) トラブルなどで正常なスタートができなかった車両は手押しにてピットレーン出口よりピットに進入することができます。

インターバルについて

- 1) 決勝ではスタートから4時間でインターバル（休憩）が入ります。チェッカーフラッグが振られたら各車そのまま1周してください。チェッカーを受けた周は、**原則追い越し禁止です**。
- 2) インターバル開始2分前にピットロード入口が閉鎖されます（**閉鎖中にピットインした場合には周回数減算のペナルティが課せられます**）。インターバル開始時間になると順位に関わらず即時チェッカーフラッグが振られ、同時にピットロード出口が閉鎖されます。
- 3) オフィシャルの指示に従い、走行車両は順次ホームストレート上でチェッカーを受けた順に並んでエンジンを停止してください。チームスタッフ1名のみがスタンドを持ってホームストレート上に入場が可能です。スタンドアップ以外、マシンに触る事は出来ません。この場所で何かしら手を加えた場合にはペナルティの対象となります。ただし、ラップタイマーのモバイルバッテリーによる充電と液晶画面の直射日光からの保護は認められます。
- 4) **インターバルは1時間です**。インターバル開始時に整備や給油のためピットインしている車両は、そのまま作業を続けることが可能となります。ただし作業は必ず自チームのピット作業エリアで行ってから、終了後にピットロード出口に並ぶようにしてください。コース復帰は再スタート後、全車両が2周回り終わったタイミングとなります。
★インターバル中にピットに居る車両が有利にならないための措置です。問題ない車両はコース上に留まったほうが有利です。
- 5) 再スタート10分前から、ライダー+スタッフ1名が入場可能になります。**再スタートの1分前にエンジンを始動して、スタンド撤去しスタッフは退避してください**。
再スタートは、フラッグにより順次走行開始とし、全車復帰となります。

ピットレーン通行について

- 1) **ピットレーンの走行制限速度は30km/hです**。違反した場合にはチームにペナルティが課される場合があります。
- 2) ピット作業エリア（コンクリート舗装区域）には、指定されたピットガレージにできるだけ近い位置から進入して停車してください。
- 3) プラットホーム（サインエリア）には、許可されたピットクルーのみが立ち入ることができます。



ピットイン

- 1) **ピットインの際には、ピットロード進入前に後方にピットインを行う意思を後方に掲示し、十分に減速しなければなりません**。
- 2) 赤旗中断の場合、ピットロードは入口、出口ともに閉鎖されます。
- 3) **決勝中は、走行40分以内に1回は必ずピットインしなければなりません。インターバルによるホームストレート上の停止も、それに含まれますのでご注意ください**。

ライダーの交代

- 1) 決勝中、**ライダー1名が連続走行できる時間は40分以内とします**。交代した次のライダーが、ピットロード上の出口を越えるまでを走行時間を含みますのでご注意ください。またインターバルの間には必ずライダー交代を行なうこととします。
- 2) ライダー交代の判断は各チームに委ねますが、ピットインしてもライダーの交代をせず引き続き走行した場合には、同一ライダーの連続走行時間として計算します。なお、メンテナンス作業等の作業時間が長時間におよぶ場合の停車時間は、連続走行時間から差し引いて考えますが、その減算時間は主催者側の判断となります。
- 3) ライダー交代は必ず割り当てピット前で行なってください。ただしインターバル時の交代は例外となります。
- 4) 給油を伴うピットインの場合には、必ずライダー交代をしなければなりません。

メンテナンス作業

- 1) メンテナンス作業（車両不備の点検、整備、修理、調整、部品の交換等）は、全てピット作業エリア、ピットガレージ内で行い、いかなる場合でもコース上、ならびにピットロード、ピットレーンで行ってはいけません。
- 2) メンテナンス作業にあたる者は、必ず作業に適した衣服（長袖・長ズボン）を着用してください。
- 3) メンテナンス作業を行う場合、エンジンは必ず停止しライダーは降車してください。ただし、車体の点検作業で必要な場合にはこの限りではありません。

燃料の補給

- 1) レース当日、各チームピット作業エリア以外での給油は一切認められません。
- 2) 火災予防のため、持ち込んだガソリン携行缶はピット内の安全な場所に置いてください。
- 3) 決勝走行中、**1回の補給量は制限しません**（給油のための携行缶は各チームでご用意ください）。
- 4) 給油時には必ずエンジンを切ってください。

燃料補給については、最低2名以上で行なってください。手順は以下の通りです。

1. ピットインした車両のエンジンを停止させます。
2. 1名は消火器をすぐに出せるように構え、もう1名が給油を行います（事前に備え付けの消火器の位置を確認ください）。
3. 給油する者、および消火態勢をとる者は、火災に備えて必ず、長袖・長ズボンを装着しなければなりません。
4. 給油完了後、給油缶と消火器を所定の場所に返却ください。

ピットアウト（コースイン）

- 1) ピットロードから本コースへの進入は、ライダー各自の責任において十分に安全確認をして行ってください。
- 2) コースインの際、ピットロード出口から第2コーナーを通過するまではコースの左端を走らなくてはなりません。
ホワイトライン（ピットロード出口から2コーナーにかけて引かれているライン）の左側（ライン上も含む）を走行し、車両のいかなる部分もホワイトラインの左端を越えてはいけません。第2コーナー通過後のレコードラインへの合流に際しては、他車両の進路を妨害することがないように十分な速度まで加速してください。
- 3) いかなる場合でもチェッカー後のピットアウトは認められません。

赤旗中断と再スタート

- 1) 重大な事故等によりコース上が危険な状態である場合、または天候、その他の理由により走行継続が不可能となった場合は、走行を中断します。その際には全ポストで赤旗振動となり、メインシグナルとストレート100m看板付近のシグナルは赤点灯となります。
- 2) 走行中断の合図と同時に全ての走行車両は、追い越し追い抜きが禁止となります。直ちに停車できるスピードまで減速して走行し、その後**オフィシャルの指示に従ってピットインせずストレート上に走行順に停止**しなければなりません。
- 3) 走行が中断された場合、走行再開は以下の条件によって判断されるものとします。

A)先頭車両が2周目を完走していなかった場合

走行継続が可能な場合、再度スタートをやり直します。その際、規定時間を短縮する場合があります。

B)先頭車両の周回が、2周以上で規定周回数(時間)の70%未満(小数点以下は切上げ)の場合

走行継続が可能な場合、赤旗表示の周回は無効となり、メインストレート上からの再スタートとなります。赤旗表示の周回(中断された周回)の直前の周回時の走行順位どおりに、先頭を走行していた車両(先頭車両がピットイン中の場合は、第2位の車両)から順にストレート上に整列してもらいます。コースがクリアになり次第、2秒毎に各車両が順次出走となります。**ライダーの連続走行時間は、中断中の時間を差し引いて計算されます。**
なお赤旗中断中の時間は、規定時間(8時間)内に含まれます。

C)先頭車両の周回が、規定周回数(時間)の70%(小数点以下は切上げ)を経過している場合

走行終了となります。赤旗表示の周回は無効とみなされ、先頭車両がその前の周回にコントロールライン(フィニッシュライン)を通過した時点で競技終了とみなされます。

赤旗中断中にピットにいる車両は、ライダー交代を含むピット作業

- 4) を継続して行うことは認められますが、ピットアウトは認められません。赤旗中断中、ピットロードは入口、出口ともに閉鎖されます。
赤旗中断中に車両の給油はできません。
- 5) 赤旗中断時に給油エリアに滞在、または待機している車両は、赤旗
- 6) が表示されてから走行再開(再スタート)までの間、給油エリアもしくは待機場所から移動することはできません。走行が再開(再スタート)された後に、ピットレーンへ移動できるようになります。
赤旗中断中にピット作業エリアにいる車両は、最後尾からの再ス
- 7) タートとなります。複数台いる場合は主催者によって順序が判断されます。

競技終了と順位の認定

- 1) 規定時間が経過した時点で周回数が最も多い先頭車両がコントロールラインを通過した後、それらに対してチェッカーフラッグが振られることで競技終了となります。その間に走行中の車両はチェッカーフラッグを受けなければなりません。
- 2) チェッカーフラッグが何らかの理由により規定周回数(時間)が経過する前に表示された場合は、競技はその時点で終了したものとみなされます。
- 3) チェッカーフラッグを受けた車両は最徐行し、次の周回でホームストレート上で車両を並べて停止いただきます(オフィシャルの誘導に従ってください)。この後、各クラス上位入賞車両はオフィシャルの指示で車両保管エリアに誘導されます。
- 4) 順位はチェッカーフラッグが振られた時点の周回数によって決まります。同一周回の車両はコントロールライン通過順によって順位が決定されます。
- 5) 完走認定は、コントロールライン上でチェッカーフラッグを受けた車両に対してのみに与えられます。チェッカーをコース上で受けてなければ非完走扱いとなります。8時間終了3分前(7時間57分経過時)にピットクローズとなり、ピットインコースインはできなくなります。
- 6) 先頭車両が規定周回数(時間)の70%(小数点以下は切上げ)を経過した後に、競技が赤旗中断となった場合、赤旗表示の周回の前の周回に先頭車両がコントロールライン(フィニッシュライン)を通過した時点での順位が最終順位となります。赤旗中断中にピットならびに給油エリアに停車している車両は、ピットインする周回の前の周回数で競技終了とみなします。

リタイア（棄権）

事故、あるいは故障等により以後の走行を放棄するチームは、トランスポンダーを返還することでリタイアの意味を届け出たとみなします。しかし、事務局の許可無く車両を会場から搬出することはできませんのでご注意ください。

賞典

- 1) 各走行会の決勝順位の結果に基づき、クラス毎のエントリー台数が9台を超える場合は第6位まで、5～8台の場合は第3位まで、4台の場合は第2位まで、2～3台の場合は第1位のみを表彰するものとします。
- 2) HRC GROMでの参加者に対し、HRC GROM Cupの表彰を行います。HRC GROM Cupの規定に合致した車両のみが対象で、車両規約の詳細はHRCのWEBページを参照してください。
- 3) 表彰式は走行会終了後に行います。また、表彰式に出席しなかったチームは、受賞の権利を放棄したものとみなされます。なお、放棄されたチームがあっても順位の繰上げは行いません。
- 4) その他特別賞なども表彰します。

参加者の遵守事項

- 1) 全ての参加者は主催者が定める誓約書に署名押印をし、開催要項、実施要項、車両規則、走行規則、公式通知、ならびに開催時に定められているサーキットの諸規則を遵守し、誓約の趣旨に従い、明朗、かつ公正に行動しスポーツマンシップにのっとったマナーを保たなければなりません。
- 2) 全ての参加者は、本走行会開催中の、薬品等によって精神状態をつくろう行為や飲酒は厳禁です。また、指定された場所以外での喫煙は禁止します。
- 3) 全ての参加者は、主催者や運営者、協賛者等の名誉を傷つけるような言動は慎んでください。
- 4) 全てのライダーは、ライダーズブリーフィングに必ず出席してください。

主催者ならびに運営者の権限

- 1) 参加申し込みの受け付けに際して、何らその理由を示すことなくライダー、ピットクルーを選択、あるいは拒否することができる。この場合、参加を拒否された申込者に対しては、参加料が返還される。なお、参加を受理された後（受理証発送後）、参加者が参加を取り消した場合、参加料は返還されない。
- 2) 参加受理、車両番号の受付、ピットの割り当て等にあたり、各参加者の優先順位を決定することができる。
- 3) 保安上、または不可抗力による特別な事情が生じた場合、走行会の延期、中止、取り止め、および走行時間の短縮を決定することができる。なお、走行会が延期されたが、延期された日程での参加が不可能な場合、中止や取り止めの場合、参加料は、事務経費（5,000円）を差し引き返還される。
- 4) 各クラスの参加申し込み数が5台に満たない場合は、該当クラスを取り止めることができる。
- 5) スポンサー広告を参加車両に貼付させることができる。
- 6) ライダー、ピットクルーを含む全ての参加者の肖像権、および車両等の音声、写真、映像等の報道、放送、放映、出版に関する権限を有し、この権限を第三者が使用することを許可できる。
- 7) 賞典の取り扱いについて最終的な決定権を有する。
- 8) その他、本走行に関する疑義についての最終的な決定権を有する。

抗議および罰則（ペナルティ）の適用

- 1) 本走行会において、参加者からの走行中を含む走行全般についての抗議は受け付けない。なお、本走行会の運営に有効な提案や要望は随時受け付ける。
- 2) 本走行会で、主催者が違反者（チーム）に課すことができる罰則は次の通りとする。

A: 走行結果から1周減算（2行為後、1行為毎に減算される）

- ・ピットレーン・ピットロードでの違反（制限速度違反など）

B: 走行結果から1周減算（1行為毎に減算される）

- 走行規則違反
- ・スタート時フライング（再スタートを含む）の追い越し追い抜き違反

C: 走行結果から1周減算（1行為毎に減算される）

- 走行規則違反
- ・フラッグ違反（赤旗違反の場合は2周減算とする）
- ・ダブルチェッカー
- ・その他の走行規則違反

D: 走行結果から2周減算（1行為毎に減算される）

- 参加者の遵守事項違反行為、およびサーキットの諸規則違反行為
- 走行規則違反
- ・フラッグ違反（赤旗）

E: 走行結果から3周減算（1行為毎に減算される）

- 走行規則違反
- ・閉鎖中のピットロードへの侵入

F: 走行結果から5周減算（1行為毎に減算される）

- 走行規則違反
- ・オフィシャル、ピットインスペクターの指示違反行為
- ・給油時の消火態勢違反行為
- ・安全作業違反

G: 走行結果から10周減算（1行為毎に減算される）

- 走行規則違反
- ・故意の有無に関わらず、赤旗の原因となる事故を起こした当該車両

H: 失格・出場停止、および全シリーズポイント剥奪

- 故意で悪質な車両規則違反、および車両検査拒否行為
- 故意で悪質な走行規則違反、および重大なマナー違反と危険行為
- 走行会の開催中、ライダーとして登録されている者以外のライダーによる走行行為

なお、主催者は状況に応じて上記の罰則を軽減あるいは強化することができる。またこれらの罰則を不服とし強い抗議を示す参加者には主催者の権限によって出場を拒否することができるものとする。

変更

本規則は、予告無くその一部を変更する場合がある。なお、変更した場合には事前に参加者に対し文書もしくは口頭にて通知する。

その他の注意事項

1) 入場に関して

走行車両以外でBパドックに入場駐車できるトランスポーター車両は1チームにつき2台までとします。Aパドックへの走行車両およびサポート車両の入場はオフィシャルの指示に従ってください。なお、鈴鹿ツインサーキットでは**1人につき1000円の入場料が別途必要となります**のでご了承ください。

2) 出走受付

出走受付時には受理証を確認し(受理証がないと出走できない場合があります)、車番認識タイム計測器(トランスポンダー)を配布します。

3) ライダー変更・追加

止むを得ずライダーの変更・追加が必要な場合は、当日の出走受付時に新規登録するライダー本人が提出済みの参加申込書に署名押印することにより認められます。なお、当日の出走受付時間終了後のライダーの変更や追加は認められません。

4) 前日練習走行

- 前日練習走行への参加はエントリーライダーのみとしますが、ヘルメット、グローブ、レーシングスーツ、レーシングブーツ等、規定に合った装備を確実に着用してください。
- 練習走行には別途走行料金が必要です。走行は先着40名まで(エンジョイ、エキスパート混走)で、1チームにつき3台まで同時に走らせることができます。
- 計測の感度等の不具合を確認し、タイム計測器の取り付け位置を変更させていただく場合があります。
- 前日練習走行は他イベントの走行と同日開催のため、ピットおよびパドックは先に使用している他イベントのエントラントが優先です。**他イベントが終了してピットが明け渡されるまでの間、入場駐車はGパドックもしくは第1駐車場に限ります**のでご注意ください。

5) 決勝走行中のピット作業

- 決勝走行中は受付時に指定されたピットを使用してください。ピットガレージ数とエントリー台数の関係上、ピットの共有をお願いすることがあります。なお、占有場所や利用方法、作業工具や貴重品等の管理に関しては、サーキット、ならびに主催者は一切関知いたしませんので、トラブル等の無いようお互いが協力して利用してください。ピットレーンにはエンジンをかけての走行はできませんが、ピット作業エリアではエンジンをかけて調整する事が出来ます。

6) その他

- 会場内は火気厳禁です。喫煙は指定場所をお願いします。**指定場所以外での喫煙を係員が発見した場合、1回目は該当チームに注意、2回目以降は該当チームに対してのペナルティとさせていただきます(その都度チームに告知はしません)。**
- 施設内にはゴミ箱がありませんので、ゴミはすべて各自お持ち帰りください。ピットガレージ内の100V電源の利用は、車両メンテナンス関係のみ使用を認めます。電気ポット、扇風機、ストーブなど家電用品で100V電源を使用されますと容量オーバーとなり、最悪の場合、タイム計測システムが遮断され、走行会の運営に支障が生じます。発電機等を持ち込みして利用してください。なお発電機は屋根のあるピットエリアの場合、騒音で場内放送が聞こえなくなるため屋根のない場所でお使いください。ピットのすぐ裏にテントを設営するのは認めますが、おもり等を使ってしっかり固定することが条件です。

後援

エトワール、ライディングスポーツ

お問い合わせ

マルトモ商店内 北陸バイクフェスティバル事務局 担当 中山

〒920-0059 石川県金沢市示野町西19番地

電話 076-267-3100 FAX 076-267-3104

または、北陸バイクフェスティバル公式ホームページ

<http://truemen.biz/>

内でのお問い合わせフォームから問い合わせください。